

第26回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録

日 時： 令和3年 3月15日（月）10時00分～11時30分

場 所： 電気学会 webex 会議

出席者： 福井委員長，山崎（孝）委員（A 部門長），山崎（健）委員（A 部門代表），蘆立委員（B 部門長），渡辺委員（B 部門代表），森委員（C 部門長），澤田（賢）委員（C 部門代表），村上委員（D 部門長），水野代理（D 部門代表の小林委員の代理），瀬戸委員（2 号委員），横山委員（2 号委員），芹澤委員（2 号委員），桂前幹事（慶応義塾大学・オブザーバ），藤原氏（電気学会・オブザーバ），本庄幹事（敬称略），以上15名

配付資料：

- 資料26-0 第26回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料26-1 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料26-2 第25回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録（案）
- 資料26-3-1 「防災・減災のための電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」経過報告
- 資料26-3-2 「IoT 普及・拡大に向けたシステムセキュリティ特別調査専門委員会」経過報告

議事概要

1 開会挨拶

福井委員長より，開会にあたり挨拶があった。

2 前回議事録の確認

資料26-2に基づき，令和2年9月2日に開催された第25回委員会の議事録（案）について最終確認を行い，承認された。

3 特別調査専門委員会からの活動状況報告

3-1 「自律走行システムにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」（瀬戸委員）

前回本委員会以降の特別調査専門委員会の活動状況について報告があった。

コロナ禍の影響で実質討議が出来ていないことから，今後の状況を注視しつつ委員会の再延長の可否を見極めることとした。

（瀬戸委員）10月15日に web にて委員会を開催したが，会社事情により web 会議出席を禁止されている委員もあり，成果とりまとめのため（報告書の執筆の分担など）の実質討議ができない状況。当初今年3月に終了を予定していた委員会の再延長の許可をお願いしたい。（現在の設置期間は2018/12～2021/11の3か年）

（福井委員長）特別調査専門委員会の期間は規定により3年が一区切りとなっており，それまでに状況が改善しない場合は，第三期として仕切り直しすることも検討したい。

3-2 「防災・減災のための電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」（横山委員）

資料26-3-1に基づき，これまで開催された委員会での検討状況，電気学会誌での特集記事掲載，電気学会全国大会でのシンポジウム開催状況が報告された。

また，特別調査専門委員会の報告書の形態について審議依頼があり，提案どおり承認された。本技術委員会として研究調査会議へ審議依頼する。

（横山委員長）前回本委員会以降，3回の委員会活動に加え，電気学会誌（2020年12月号）での特集記事の

掲載、3月9日の電気学会全国大会でのシンポジウムの開催を実施してきた。シンポジウムは電子情報通信学会と連携して開催したもので、当日100人程度の方が聴講された。
なお、本日は報告書の目次案の審議をお願いしたい。

(藤原特調委幹事補佐) 電気学会全国大会のシンポジウムは、北海道のブラックアウトや一昨年の台風の影響に加え、災害時の情報提供のあり方に主眼を置いたものとした。

報告書は予算10万円を頂いての冊子版の作成と、電子データのHP掲載の二本立てとしたい。

(蘆立委員) 広く社会に発信することになるので、個人、行政、民間企業など対象者毎に仕分けがクリアになっていると、報告書の位置づけがより明確になるのではないかと。

(藤原特調委幹事補佐) 電力会社の取り組みだけではなく、個人の対策、社会インフラ企業の対策の視点からの検討がこの委員会の根幹となっており、ご指摘の方向で取りまとめている。

(福井委員長) 予算関係は最終的には研究調査会議で承認される流れでよいか。WG毎の分量比はどの程度になるか。WG3の内容は濃いものであったが、電気学会からの発行なのでWG1が多めのほうが望ましい。

(藤原特調委幹事補佐) 本委員会で承認後、福井委員長名で研究調査会議に諮ることとなる。WG2と3の分量は同じ程度になる見込み。WG1の分量はまだ決まっておらず、担当の花井委員と調整したい。

(横山委員長) WG3はPPT形式のため、他のWGより分量が膨らむことにはならないと考えている。

(森委員) 非常に良い報告書になると思うので、概要版をPPTで広く公開していただきたい。

(村上委員) シンポジウムの発表内容をビデオで配布できると良い。

(藤原特調委幹事補佐) 当初ビデオ撮影を検討していたが、参加者全員の合意が得られず断念した。発言録を残せるよう協議している。

3-3 「IoT普及・拡大に向けたシステムセキュリティ特別調査専門委員会」(芹澤委員)

資料26-3-2に基づき、これまで開催された委員会での検討状況について報告があった。

(芹澤委員長) 11月25日に委員会を開催しており、次回は3月16日を予定している。2021年9月15~17日に開催されるC部門大会でセッションを企画し、委員会の終了報告としたい。

(村上委員) 国際会議でプレディクティブメンテナンスが話題となっているが、これは調査されているか。

(芹澤委員長) これまでの委員会では取り上げていなかったが、価値が高ければ取りあげるよう明日の委員会で協議したい。

(福井委員長) C部門大会でのセッションをもって最終報告形態とのことだが、関心が高く継続的に進めてきている委員会なので、電気学会本誌に掲載することも検討されたい。

(芹澤委員長) 前身の委員会でも同じ形態としているが、資料も揃ってきているので成果物としてのとりまとめについて、明日の委員会で協議したい。

4 その他

- ・次回の本委員会は令和3年9月中旬の開催とし、日程は別途調整することとした。

以上